

機械器具 16 体温計

一般医療機器 再使用可能な体温計プローブ 37340001

400シリーズ 体温ケーブル

【禁忌・禁止】

〈併用医療機器〉「相互作用の項参照」

1. MRI 検査を行う際は本品を検査室に持ち込まないこと。
[MR 装置への吸着や、火傷等のおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



カタログ番号	品 名
2016998-001	体温デュアルケーブル 50cm
2021700-001	体温シングルケーブル 50cm

2. 構造・構成ユニット

- 1) 装置接続部
- 2) ケーブル
- 3) 体温プローブ接続部：1/4 インチ（6mm）フォンジャック

【使用目的又は効果】

本品は患者の体温情報を生体情報モニターに伝達するための体温ケーブルであり、体温プローブを用いて、連続的に測定した患者の体表温や深部体温を装置に伝達する。本品は洗浄・消毒して再使用することができる。

【使用方法等】

- 1. 体温ケーブルを装置に接続するときは、装置側のコネクタ位置を確認し、しっかりと差し込むこと。
- 2. 体温プローブのプラグを体温ケーブルのジャックに接続して、装置画面に体温が表示されることを確認する。
- 3. 体温ケーブルから体温プローブを外す際は、コネクタの固い部分を保持し、ゆっくりと抜くこと。また装置からケーブルを外す際も装置を固定し、コネクタ部分持って抜くこと。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1. 抜き差しを行う場合は、ケーブルを引っ張らずにコネクタ部を持って行うこと。[断線や接触不良の原因となるため]
- 2. GE Healthcare 社以外の装置に使用しないこと。[その他の装置との動作保証はしていないため]

〈相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）〉

1. 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
核磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）	検査室に本品を持ち込まないこと。 MRI 検査を行うときは、本品を患者から取り外すこと。	誘導起電力により局所的な発熱で火傷のおそれがある。また、磁気により本品が吸着されるおそれがある。

2. 併用注意（併用に注意すること）

- 1) 電気メスの対極板が正しく取り付けられていることを確認すること。[患者の火傷を防止するため]

【保管方法及び有効期間等】

〈保管条件〉

周囲温度：-30～60℃
相対湿度：（結露しないこと）

〈耐用回数〉

クリーニングテスト 80 回
本品は消耗品（修理不可能）である。異常があれば新品と交換すること。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項〉

- 1. 使用前に製品の破損・汚れがないか確認すること。目視で確認できる損傷がある場合は直ちに使用を中止すること。
- 2. 使用後は中性洗剤に浸した柔らかい布で清拭した後、水道水を浸した布ですすぐこと。
- 3. 洗浄後、2%グルタールアルデヒド又は 70%イソプロパノールに浸した滅菌布を使用して消毒すること。オイルや有機溶剤は使用しないこと。
- 4. 洗浄・消毒後は清潔な乾いた布、又はガーゼで拭いて完全に乾燥させること。
- 5. 本品は液体に浸したり、改造したりしないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：
パイエアメディカル合同会社
TEL：0120-951-321（カスタマーサービス）
外国製造業者：
パイエア メディカル オーワイ（Vyaire Medical Oy）
国名：フィンランド共和国